【記入例】

別記様式第９－７号

遊漁船安全設備導入支援事業費助成金概算払請求書

※①

令和７年○月○日

一般社団法人海洋水産システム協会
会　長　　殿

住　　所　　東京都中央区日本橋○－○－○
事業実施者名　　システム太郎

令和７年９月１９日付７海洋第 213 号-○○○○で通知のあった交付決定通知書に基づき、下記のとおり精算払いにより支払いをされたく、水産関係民間団体事業補助金交付等要綱の運用について（平成 22 年３月 26 日付け 21 水港第 2597 号水産庁長官通知）の第３の２－１０の（３）のウの（イ）のｆの（ｄ）の規定に基づき、下記のとおり請求する。

記

（単位：円）

項　目	交付決定額 (a)	既受領額 (b)	今回請求額 (c)	不用額 (a)－｛(b)＋(c)｝	備考
遊漁船安全設備導入支援事業費	○○,○○○	0	※②	0	

添付書類
（１）管理台帳
（２）振込口座報告書
（３）通帳の写し（表紙、表紙裏）　※③
（４）交付決定通知書の写し
（５）見積書の写し
（６）請求書の写し
（７）領収書の写し

※①　本書類の作成日を記載する。

※②　「今回請求額」は、①見積額と請求額に変更がない場合、②請求額が見積額よりも大きい場合は、交付決定額をそのまま転記する。なお、③請求額が見積額よりも小さい場合は、（本体金額÷２）円から千円未満を切り捨てた額を記載する。

【例】
１．改良型救命いかだ等の導入を１，５００，０００円で申請し、１，５００，０００円で発注した場合。　→　**今回請求額は、助成金の額（本ケースでは７５０，０００円）をそのまま転記してください。**

２．改良型救命いかだ等の導入を１，５００，０００円で申請したが、結果的に１，７００，０００円で発注した場合　→　**今回請求額は、助成金の額（本ケースでは７５０，０００円）をそのまま転記してください。**
※導入金額が増大しても、助成金の額は増えません。

３．改良型救命いかだ等の導入を１，５００，０００円で申請したが、結果的に１，３００，０００円で発注した場合。
→　**「今回請求額」は、１，３００，０００円÷２＝６５０，０００円を記入してください。なお、計算の結果、千円未満が発生した場合は、千円未満を切り捨てて記入してください。（例）計算結果が５５７，５００円だった場合　→　５５７，０００円と記入。**
※導入金額が減額された場合は、それに応じて助成金の額は減額されます。

※③　以下の添付書類を添えて提出してください。

（１）振込口座報告書　※別添様式にて提出
（２）振込口座通帳の写し（表紙、表紙裏）
（３）請求書等（発注時にメーカー等から発出される請求書 or 請書等、発注金額が確認できる書類）の写し
（４）領収書の写し